

Rシリーズ(R550/R450) 簡易取扱説明書

2026/7/1

各部・キーの説明

写真はR550です。

【VISIBLE IMAGE】ボタン

- ・熱画像/可視画像/合成モードの切替
(合成モードでは、長押しで微調整が可能)

【AUTO FOCUS】ボタン

- ・短押し:フォーカスを自動調整
- ・長押し:温度スケールとフォーカスを同時に自動調整(フルオート機能)

【AUTO SCALE】ボタン

- ・短押し:温度スケールを自動調整
- ・長押し:温度スケールを連続で自動調整

***長押しは2秒以上**

【・FRZ/-REC】ボタン

- ・短押し:熱画像の静止/静止解除
- ・長押し:画像データを記録

【赤外レンズ】

【フォーカスリング】

- ・フォーカスを調整

【ビューファインダ】

【PLAY】ボタン

- ・ファイル再生(サムネイル表示)

【MENU/ESC】ボタン

- ・メニュー表示
- ・設定キャンセル

【電源】ボタン

- ・電源のオン/オフ

【ジョイスティック】

- ・上下左右及び押込み:設定の変更やカーソル移動

【・FRZ/-REC】ボタン

- ・短押し:熱画像の静止/静止解除
- ・長押し:画像データを記録

【レーザーポインタ】ボタン

- ・レーザー照射のオン/オフ

【LCDディスプレイ】

ACアダプタ

SDカードの印刷面を右にして向きを間違えないように真つすぐ差し込みます。
固定されるまで奥に押し込んでください。



SDカード

有線リモコン

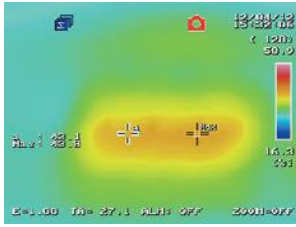
バッテリーの端子側から奥へ挿入してください。



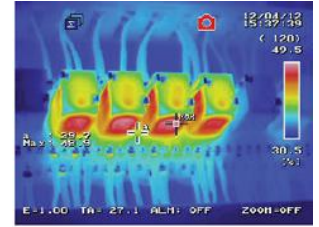
バッテリー

フォーカス設定

1 自動でフォーカスと温度スケールを調整する（フルオート機能）



AUTO
FOCUS



①カメラを対象物に向け、なるべく画面の中心付近に温度差があるものを映します。

②【AUTO FOCUS】ボタンを2秒以上長押しします。

③フォーカスと温度スケールが自動で調整されます。

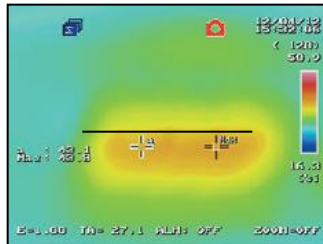
2 自動でフォーカスのみを調整する。（オートフォーカス機能）

①カメラを対象物に向け、なるべく画面の中心付近に温度差があるものを映します。

②【AUTO FOCUS】ボタンを単押しします。

③フォーカスが自動で調整されます。

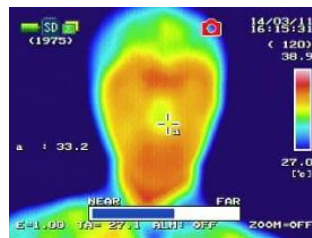
※フォーカス調整時に表示される画面中央の水平ラインが対象物のエッジを横切るように映してください。



※対象物から50cm 以上離れた状態で動作します。

※自動でうまく調整されない場合、またはマニュアルで設定する場合は、以下の調整を行ってください。

3 マニュアルでフォーカスを調整する



①【フォーカスリング】を右か左に回します。

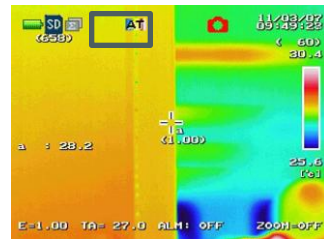
②フォーカスゲージが表示され、ピントが変わります。

③輪郭がシャープになるところで止めます。

温度レベル・スパン設定

1 自動で温度レベル・スパンを連続で調整する。(連続オート)

- ①カメラを対象物に向け、なるべく画面の中心付近に温度差があるものを映します。
- ②【AUTO SCALE】ボタンを2秒以上長押しします。
対象物に対し、連続で温度スケール(温度レベル・スパン)が調整されます。
ステータスアイコンが表示され、連続オート状態になります。
- ③終了する場合は、【AUTO SCALE】を押します。

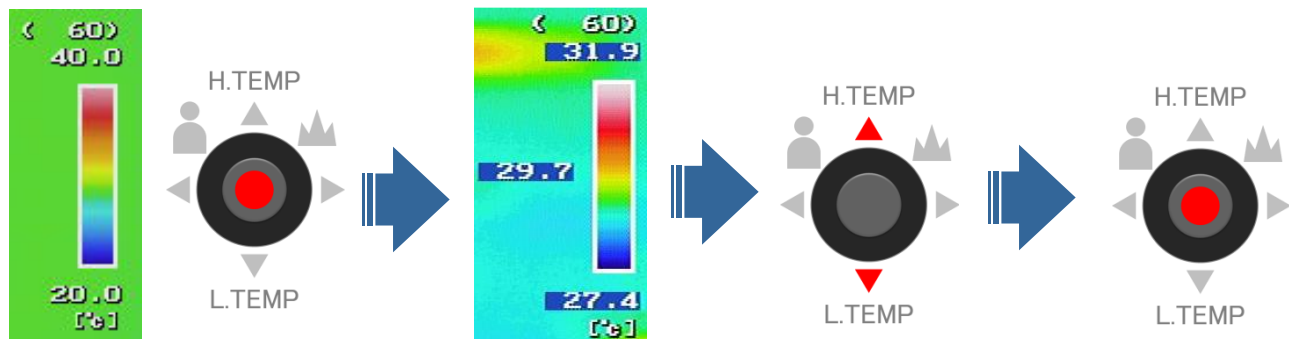


2 自動で温度スケール・スパンを調整する(1ショットオート)

- ①カメラを対象物に向け、なるべく画面の中心付近に温度差があるものを映します。
- ②【AUTO SCALE】ボタンを単押しします。
対象物に対し、押すたびに温度スケール(温度レベル・スパン)が調整されます。

3 マニュアルで温度レベル・スパンを調整する

【温度レベル設定】

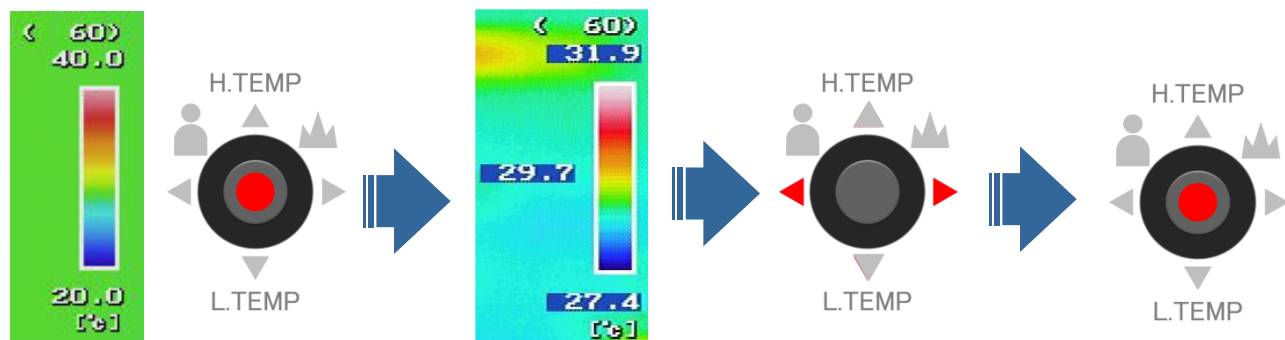


- ①【ジョイスティック】のENTERを単押しし、レベル/スパン設定モードに入ります。

- ②【ジョイスティック】を上/下すると温度レベルを変えられます。

- ③【ジョイスティック】を押込んで値を確定します。

【温度スパン設定】



- ①【ジョイスティック】のENTERを単押しし、レベル/スパン設定モードに入ります。

- ②【ジョイスティック】を左/右すると温度スパンを変えられます。

- ③【ジョイスティック】を押込んで値を確定します。

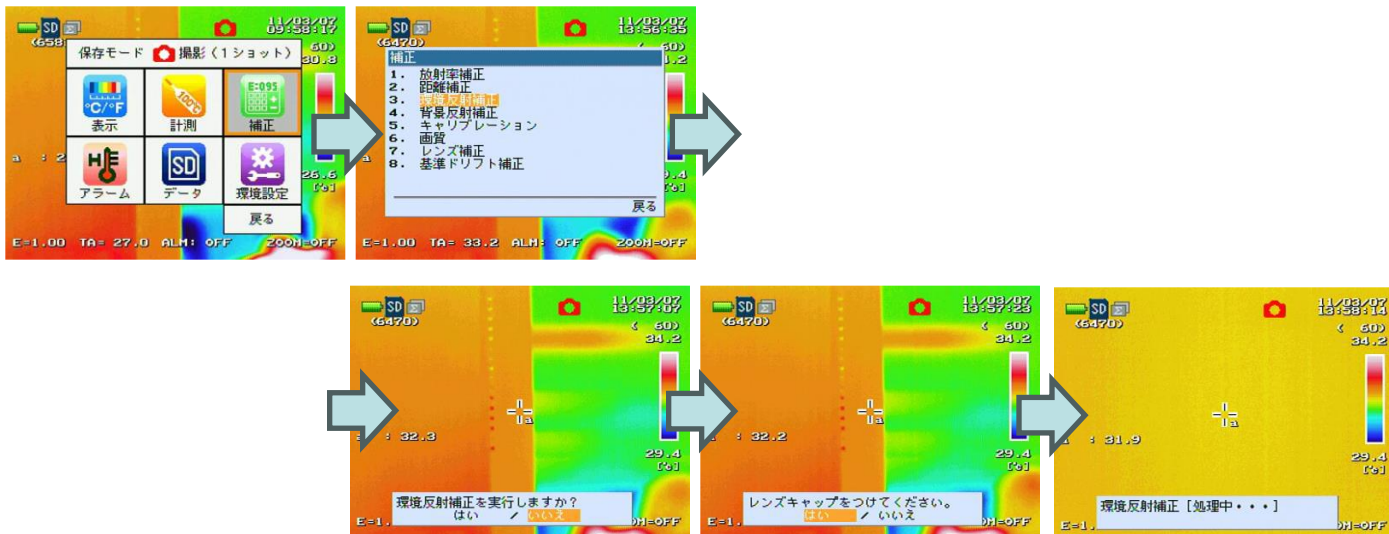
温度レンジ設定

- ①通常画面で、【MENU/ESC】を押して、メニュー画面を開きます。
- ②メニュー画面で「表示」を選び、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ③「レンジ設定」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ④「レンジ種類」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。該当するレンジを選択します。



環境反射補正設定

- ①通常画面で、【MENU/ESC】を押して、メニュー画面を開きます。
- ②メニュー画面で「補正」を選び、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ③「環境反射補正」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ④表示されたガイドメッセージで「はい」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ⑤レンズ保護キャップを装着後、「はい」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。



放射率設定

- ①通常画面で、【MENU/ESC】を押して、メニュー画面を開きます。
- ②メニュー画面で「補正」を選び、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ③「放射率補正」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ④「補正值」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ⑤【ジョイスティック】で補正值を設定し、ENTERを押します。



カラーパレット設定

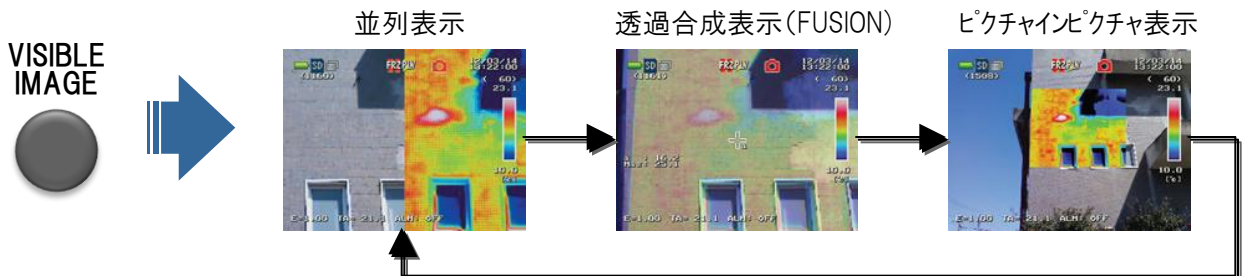
- ①通常画面で、【MENU/ESC】を押して、メニュー画面を開きます。
- ②メニュー画面で「表示」を選び、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ③「カラーパレット」を選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。
- ④選択したいカラーパレットを選択し、【ジョイスティック】のENTERを押します。



モノクロは、「ホットホワイト」を選択してください。

熱画像/可視画像表示切替え

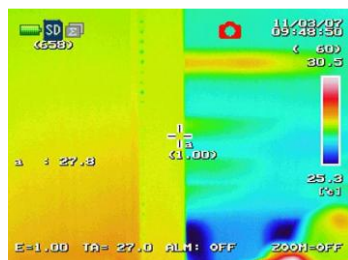
■ 熱画像と可視画像の比較が容易な可視像合成モードへの切替



【VISIBLE IMAGE】ボタンを押すたびに表示モードが切り替わります(熱画像、可視画像も含めて5種類の表示が切り替わります)。

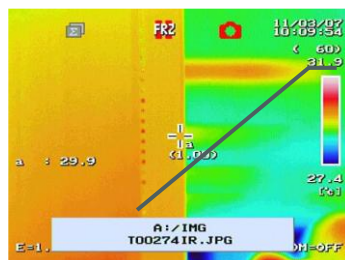
画像保存(1ショット記録モード)

①1ショット記録モードにおいて、【FRZ/REC】を長押しします。



【FRZ/REC】を長押し

保存後



保存実行中は表示され、終了後、消えます。

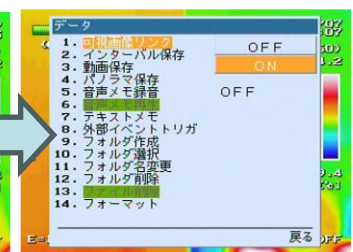
【記録モードを変更したい場合】

メニュー画面で、「保存モード」を選択後、「撮影(1ショット)」を選択します。



【可視画像を同時に記録したい場合】

メニュー画面で、「データ」を選択後、「可視画像リンク」を選択し、「ON」を選択します。



サムネイル表示と画像再生

SDカードのフォルダー内に保存した画像(熱画像、可視画像、合成画像)を再生します。

- ①通常画面で、【PLAY】を押して、サムネイル画面を開きます。
- ②サムネイル画面で【ジョイスティック】の画像を選択します。
- ③選択した画像が表示されますので、【ジョイスティック】でENTERを押します。
- ④画像再生を終了した場合は、【PLAY】を押します。通常画面に戻ります。

